

2024年度 日本頭蓋顎顔面外科学会

専門医認定試験

(お願い)

座席の指定はありません。

前方から左右の間隔をあけて着席してください。

試験時間	17:30	～	18:00
------	-------	---	-------

1. 眼窩周囲骨折に対する眼窩底へのアプローチにおいて、術後眼瞼内反が起こる可能性が高いものはどれか。
1つ選べ。

- a) 結膜切開法
- b) 経上顎洞法
- c) 睫毛下切開法
- d) 瞼板下切開法
- e) 下眼瞼切開法

2. 下記の組み合わせで不適切なのはどれか。 1つ選べ。

- a) 鼻篩骨骨折 — 流涙
- b) 上顎骨折 — 咬合異常
- c) 前頭骨前壁骨折 — 髄液鼻漏
- d) 下顎骨関節突起骨折 — 前方開咬
- e) 小児の鼻骨骨折 — リモデリングによる形態改善

3. 顎変形症などに対する上下顎骨切り移動術の際に注意する解剖について誤っているものを1つ選べ。

- a) 下顎枝矢状分割骨切り術(SSRO)では、顔面神経の走行に留意する。
- b) 下顎枝矢状分割骨切り術(SSRO)では、下歯槽神経の走行に留意する。
- c) 下顎枝矢状分割骨切り術(SSRO)では、下顎後静脈からの出血に留意する。
- d) LeFort I型骨切り移動術では、大口蓋動脈に至る上行口蓋動脈からの出血に留意する。
- e) LeFort I型骨切り移動術では、翼突上顎縫合部離断に伴う静脈叢からの出血に留意する。

4. 小耳症において正しいものを1つ選べ。

- a) 近年国内でも再建材料として人工物が多く使用されている。
- b) 術後10年以上経つとワイヤーの露出が生じることはまれである。
- c) 移植した軟骨フレームが感染しても、軟骨摘出に至ることはまれである。
- d) 耳介挙上時に耳介後面に軟骨移植を追加する術式は現在あまり行われていない。
- e) 肋軟骨移植時の皮下剥離の際、一部に皮下茎を温存した方が皮膚の血流は安全である。

5. 皮弁とその栄養動脈の組み合わせで正しいのはどれか。
2つ選べ。

- a) Estlander flap — 口唇動脈
- b) Axial frontonasal flap — 鼻背動脈
- c) Median forehead flap — 内眼角動脈
- d) Nasolabial fold flap — 浅側頭動脈
- e) Submental island flap — 口唇動脈

6. 輪郭形成術と起こりうる神経麻痺について正しいのはどれか。 2つ選べ。

- a) 前額形成術 — 顔面神経頬骨枝
- b) 上顎形成術 — 眼窩上神経
- c) 頬骨形成術 — 顔面神経側頭枝
- d) 下顎角形成術 — 眼窩下神経
- e) オトガイ形成術 — オトガイ神経

7. 唇顎口蓋裂に関わることについて、正しいものはどれか。
1つ選べ。

- a) 唇顎口蓋裂の出生頻度は、2000人に1人である。
- b) 口唇裂初回手術のMillard法は、三角弁法に分類される。
- c) 口蓋裂患者は、乳幼児期に滲出性中耳炎を合併することが多い。
- d) 口蓋裂に起因する鼻咽腔閉鎖機能不全では、声門破裂音を生じることはない。
- e) 粘膜下口蓋裂におけるCalnanの3徴とは、口蓋垂裂、軟口蓋正中の透過性、鼻咽腔閉鎖機能不全の3つである。

8. 外耳道閉鎖を伴う片側性の小耳症について
適当なのはどれか。1つ選べ。

- a) 耳小骨の異常は伴わない。
- b) 平衡機能にも異常を認める。
- c) 60[dB]程度の伝音性難聴を呈する。
- d) 外耳道形成をすることで正常な聴力が獲得できる。
- e) 積極的にBAHA（埋め込み型骨導補聴器）を適応する。

9. Treacher Collins症候群について
誤っているものはどれか。 1つ選べ。

- a) 聴覚異常は伴わない。
- b) 下眼瞼の切痕を認める。
- c) 頬骨および下顎骨発育不全を伴う。
- d) 前方へ伸びたもみあげを示すことが多い。
- e) 常染色体顕性（優性）の遺伝形式をとる。

10. 頭蓋縫合早期癒合症について、正しいものはどれか。
1つ選べ。

- a) Apert症候群では眼窩間距離が短縮する。
- b) Scaphocephalyは冠状縫合の早期癒合により生じる。
- c) Trigonocephalyはラムダ縫合の早期癒合により生じる。
- d) Pfeiffer症候群ではCloverleaf skullを呈することがある。
- e) Crouzon症候群は、常染色体潜性（劣性）遺伝を生じる。